

# 会津坂下町立学校の教育職員に関する 業務量管理・健康確保措置実施計画

—教育職員の働き方改革—

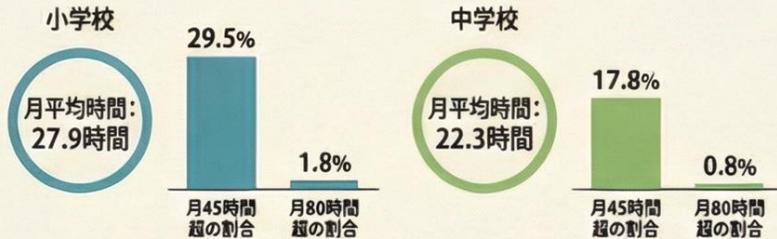
## なぜ『働き方改革』が必要なのか？ —会津坂下町の現状—

### 教育職員の働きがいと働きやすさの両立が急務

調査物の集計や保護者対応などの業務時間が大きく、教職員が本来行うべき業務に集中できる時間的・心理的な余裕の創出が必要です。



教職員の月平均時間外在校等時間(令和6年度)



計画期間(令和8年～令和11年)



## どうやって実現するのか？ —具体的な取組内容—

### 「業務の3分類」で役割分担を明確化

- ①学校以外が担うべき業務、
- ②教師以外が積極的に参画すべき業務、
- ③教師の業務だが負担軽減を促進すべき業務

**①学校以外が担うべき業務**

- 登下校の見守り**  
保護者・地域住民による通学路等の見守り活動を推進します。
- 夜間等の校外パトロール**  
夜間等の校外見守りは、警察が行っている巡回パトロールに委ねます。
- 学校徴収金の徴収・管理**  
集金業務の一元化ができるシステムの導入を検討します。
- 過剰な苦情等への対応**  
教育委員会に相談窓口を設置し、当該苦情等に対応できる体制を構築します。

**②教師以外が積極的に参画すべき業務**

- 調査・統計等への回答**  
校務支援システムを活用し、事務負担を軽減する。
- ICT機器の保守・管理**  
ICT支援員が中心となって行います。
- 部活動**  
部活動の地域展開・地域連携を推進します。

**③教師の業務だが負担軽減を促進すべき業務**

- 授業準備・成績処理**  
スクール・サポート・スタッフの支援や、校務支援システム、自動採点技術等を活用します。
- 支援が必要な児童生徒・家庭への対応**  
スクールカウンセラー等、専門的な人材と連携・協働した支援体制を構築します。

### 全ての学校で進める業務効率化と健康確保

**勤務時間外の電話対応の見直し**  
令和8年度中に全校へ留守番電話機能や録音機能のある電話機を設置します。

**デジタル技術(DX)の活用**  
職員間における情報共有のデジタル化や事務管理などの校務を効率化を進めます。

**休息時間の確保を推進**  
11時間を目安とする勤務時間インターバルの確保に取り組みます。

**定時退校日と学校閉校日の設定**  
週1回以上の定時退校日と、長期休業等の期間中に3日間以上の一斉閉校期間を設けます。

**柔軟な働き方の検討**  
令和9年度を目途に、当番制時差勤務制度やテレワークの導入をします。

### 町全体で支えるために —フォローアップと連携—

**取組状況を公開し、透明性を確保**  
毎年度、教育職員の在職等時間の状況を把握し、町ホームページで公開します。

**課題のある学校への個別支援**  
時間外在校等時間が長時間となっている学校等に、教育委員会が関与するなど、改善に向けた支援・助言を行います。

**保護者・地域との連携を強化**  
本計画について周知を行うとともに、理解と協力が得られるように取り組めます。